

# 防災ガイド BOOK (震災対応編)

あなたの事業所はどんなところにありますか？

万一の災害に対応して事前の備え及び災害時の行動について

このガイドブックを有効に活用しましょう

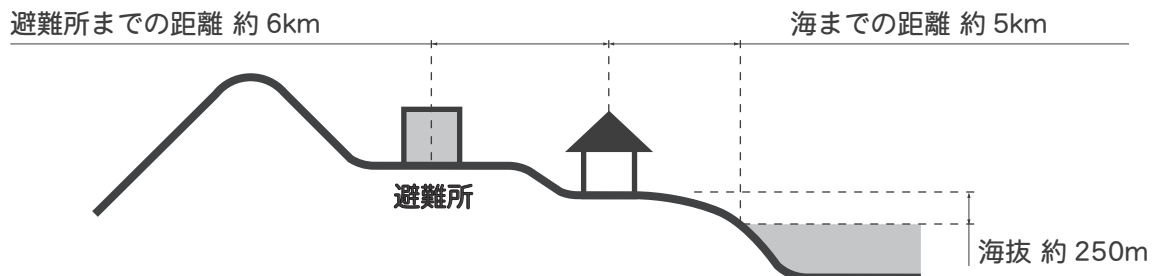
全国グループホーム団体連合会

平成25年11月 発行

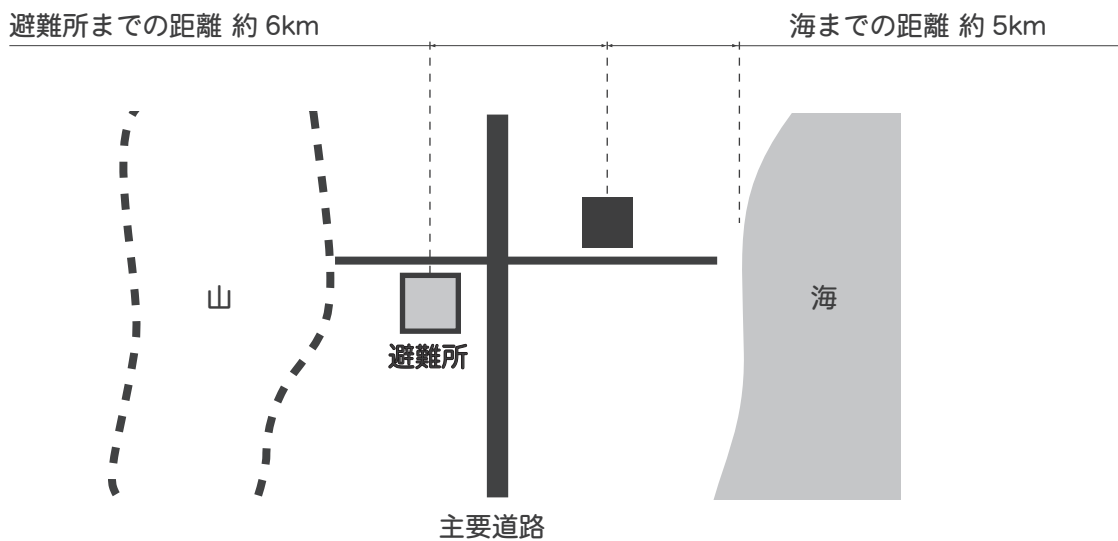
**WORK1** あなたの事業所はどんなところにありますか？

あなたの事業所の特徴を知りましょう。(例1)

[断面図 例] 海沿いに事業所がある場合



[平面図 例]

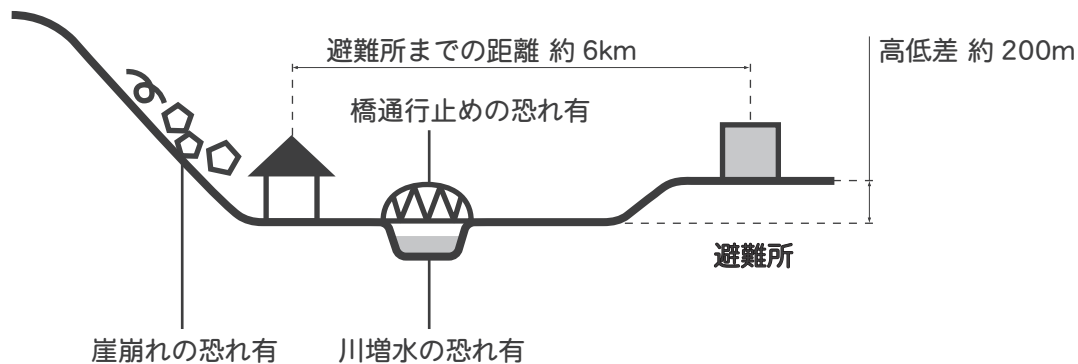


	数値	備考
海抜メートル	約 250m	
海までの距離	約 5km	海まで緩やかに下っている地形。
津波到達速までの時間	約 20 分	震度により到達時間に変化あり。
避難所までの距離	約 6km	途中に高低差あり。

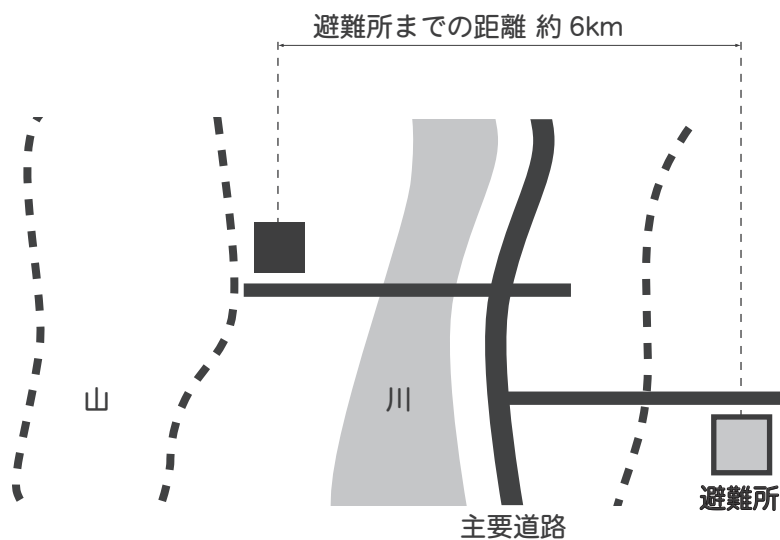
## WORK1 あなたの事業所はどんなところにありますか？

あなたの事業所の特徴をしりましょう。(例2)

[断面図 例] 山沿いに事業所がある場合



[平面図 例]

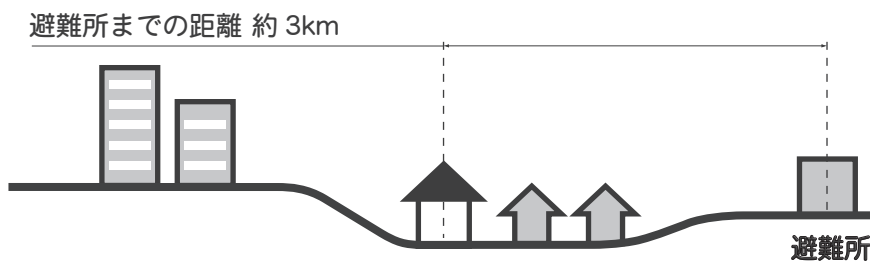


	数値	備考
川までの距離	約 1.5km	堤防整備済みだが、増水の可能性がある。
平常時の川の水位	約 0.5m	2.5m 上昇で橋通行止め。3.1m 上昇で氾濫危険水位。
避難所までの高低差	約 200m	地形のアップダウンにより移動に時間がかかる。
崖崩れ予想箇所	2カ所	裏山有り。大雨の時に崖崩れに注意。

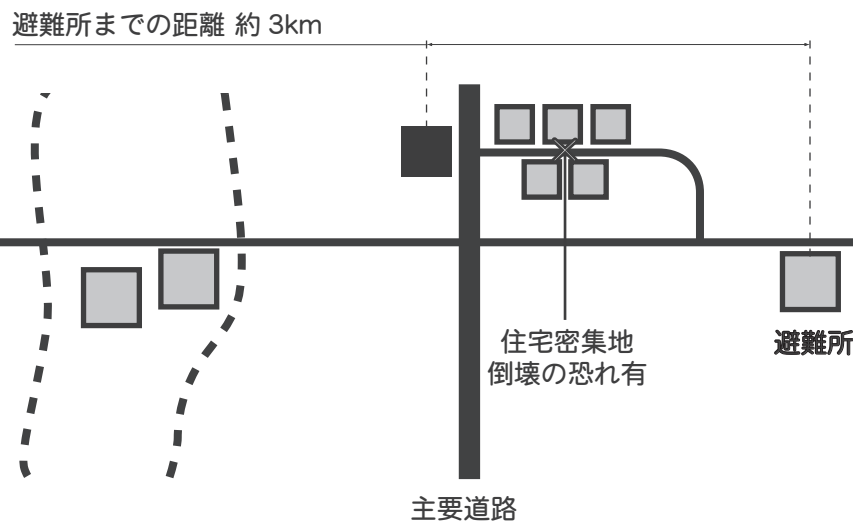
**WORK1** あなたの事業所はどんなところにありますか？

あなたの事業所の特徴を知りましょう。(例3)

[断面図 例] 市街地に事業所がある場合



[平面図 例]



	数値	備考
住宅倒壊の恐れ		住宅密集地を避け、大きな道から避難所へ移動。
避難所までの距離	約 3km	移動中に道路渋滞の恐れあり。

**WORK1** あなたの事業所はどんなところにありますか？

あなたの事業所の図を作成しましょう。(例1、2、3を参考に)

[断面図]

[平面図]

あなたの事業所の特徴を記入しましょう。

	数値	備考

**WORK2** あなたの事業所はどんな建物で、どんな設備がありますか？

あなたの事業所の建物の図を作成しましょう。

[断面図]

あなたの事業所の建物の状態を記入しましょう。

	特徴	メンテナンス回数		特徴	メンテナンス回数
(例) 構造	鉄筋コンクリート	1回/年	非常口		/年
構造		/年	避難器具		/年
建築年数		/年	通報装置		/年
階段		/年	消火器		/年
耐震構造		/年			/年

**WORK3** あなたの事業所はどのような状況ですか？

1. 利用者の状況、職員状況

	人数	備考
利用者（要支援）		
利用者（要介護）		車いす 人
スタッフ（常勤）		市内 人、市外 人
スタッフ（非常勤）		
近隣応援者		



4. 緊急応援体制の確定と人員確保（誰が、どのように実施しますか？）

誰が	どのように

5. 法人・地域・関係団体・行政等との連携と助け合い（誰が、どのように実施しますか？）

	誰が	どのように
法人		
地域		
関係団体		
行政		

6. 行動・活動はどのようにしますか？

《自力避難は困難な人への対応するには…》

誰が	どのように





**WORK5** 関係者の状況の把握方法を考えましょう。

	誰が	どのように把握するか
利用者の被災 利用者家族の被災		
職員の被災 職員家族の被災		
意志決定者の被災		
行政の被災		

**WORK6** 災害発生時からの動きを具体的に想定しておきましょう。

《発生直後》

	誰が	どのように把握するか
安全確保 火災の予防		
安全な場所への 避難誘導		
利用者・現場職員 の安全確認、報告		
応急救護		
通信手段の確保、 情報収集、提供		
医療機関連絡 搬送		
事業所被害状況 確認		

《発生当日》

	誰が	どのように把握するか
利用者家族、職員 家族、行政、法人 本部等への連絡		
トイレ対策		
防寒、防暑対策		
食事確保・手配		
一時入所・利用者 増員への対応		
地域ニーズの対応		
問合せ対応		
情報発信		

《発生翌日から》

	誰が	どのように把握するか
必要業務の継続		
ケアの継続		
職員の健康管理		
ボランティア受入		
関係団体・他事業所と の協力		
一時入所・利用者増員 への対応		

**WORK7** 災害時に向けて準備をしておきましょう。

《防災・備品用品を確認表（非常時持ち出し袋に用意）》

物品	物品	物品
消化器	懐中電灯	ラジオ
軍手	救急箱	担架
マスク	毛布	タオル
雨合羽	マッチ・ローソク	小銭
バケツ	拡声器	電池
ロープ	自転車	ポリタンク
サバイバルナイフ	簡易トイレ	ティッシュペーパー
飲料水	アルファ米	缶詰
カップラーメン	乾パン	クラッカー
カセットコンロ	鍋、ヤカン	ヘルメット
食器セット	使い捨てカイロ	ゴミ袋
利用者服薬	アルミホイル	紙おむつ

《防災・備品用品を確認表（非常時持ち出し袋に用意）》

頻度	品名										
		確認日	確認者	確認日	確認者	確認日	確認者	確認日	確認者	確認日	確認者

《多くの場面を具体的に想定し訓練しておく》

いつ（年何回）	どのような訓練を実施するか

**WORK8** 県内外の連絡体制を準備しておきましょう。

1. 県内連絡体制



2. 県外（広域）連絡体制

